

# あいちの ふくし

- 新年のご挨拶 ..... 02
- 社会福祉協議会が取り組む新たな試み ..... 03
- 民生委員 児童委員活動紹介 ..... 04
- 施設紹介 ..... 05
- 福祉サービス利用支援センターだより ..... 06
- 福祉人材センターだより ..... 07
- 福祉生きがいセンターだより ..... 08・09
- 第31回ふれあいフォトコンクール入賞者決定、民生委員制度創設 100周年記念・第65回愛知県社会福祉大会、ミニ福祉検定(問題) ..... 10
- 愛知県共同募金会だより ..... 11
- 福祉の保険 ご案内、ご寄付に感謝、ミニ福祉検定(解答) ..... 12

社会福祉法人愛知県社会福祉協議会  
 名古屋市東区白壁一丁目50番地  
 ☎(052)212-5500  
 編集発行人 安藤 貴康  
<http://www.aichi-fukushi.or.jp/>

2018.01  
 no.490



## 子ども会による世代間交流の取り組み

愛知県子ども会連絡協議会 副会長 福井 靖

近年、少子化・核家族化が進む中、家庭で高齢者と接することが少なくなってきた子どもと、生きがいを持ち自立した生き方を求められるようになった高齢者が交流できる世代間交流事業が活発に行われるようになりました。子ども会でも、三世代交流や地域の人との交流が、今後の重要な活動のひとつと捉え、推進・拡大に取り組んでいます。中には、主役が高齢者と子どもの二世代間の交流になっているケースも多く見受けられます。

私の地元では、5年前に町内の若者達が自主

的に三世代交流を提案し、青年部のドラム缶風呂、老人クラブの竹馬作り、子ども会の流しそうめん、子ども達のダンスなど、作る、遊ぶ、食べるを世代を超えて楽しむイベントとして開催され、年を追うごとに交流が深まっています。それぞれの世代が楽しいものにしていくという思いが素晴らしい活動になっていくものだと思感しています。

今後、それぞれの地域で世代間交流が活発に行われ、地域のコミュニケーション力が高まり、伝統文化の継承にも繋がればと思っております。



# 「輝く福祉」の実現に、 誇りと自信をもって前進を！

社会福祉法人愛知県社会福祉協議会 会長 大沢 勝

新年あけまして、おめでとうございませう。

昨年を振り返ってみると、将棋の最年少プロ棋士・藤井聡太四段が最多連勝記録を作るなど本県にとって明るい話題に恵まれましたが、反面、全国各地で異常気象による自然災害が多発しました。度重なる脅威を目の当たりにして、改めて「安心・安全な社会」の実現に万全の備えが急務であることを痛感させられた一年でした。

ところで、今年には戌戌（つちのえいぬ）の年です。戌（つちのえ）は、斧に近い柄のある矛（ほこ）の形であり、戌（いぬ）は、まさかりの刃部を示している。まさに、「表裏一体となる年」といえます。しかし、十二支の十二獣では、戌（いぬ）には「犬」が当てられています。犬は、洋の東西を問わず、人間と最も古くからの親密かつ忠実な攻守共存の関係にある動物です。すでに縄文遺跡に犬の骨がありました。反面、犬のもつ鋭い嗅覚と聴覚

は、人間にとって脅威の存在でもありました。「犬神様」や北欧神話の「冥府の番犬」として、祭祀などで、霊獣として恐れられ、崇められる面もありました。また、「△△の犬」などと、卑劣な「回し者」の代名詞にも使われます。これだけは、「犬も食わぬ話」にしたいものです。ともあれ、今年の干支でみれば、まさに、人間と犬の絆の深さを示す年となります。言い換えれば、人間同士の「絆の大事さ」を感得すべき年だと思えます。

さて、社会福祉法人制度改革をめぐる対応も一段落し、今年はいよいよ新たな道標（第四次中期計画）に向け、本格的な始動の年となります。「超少子高齢化」「人口減少社会」「人生百年時代」を迎えた今、人々のライフステージや地域社会の構造も大きく変わることが予測されます。このような時代になればこそ、「誰もが生涯を通していきいきと心豊かに暮らせる社会」の実現が急務です。

子ども・高齢者・障害者・性別を越えた全世代型で、市町村社協、社会福祉施設、及び福祉関係機関・団体・行政に加え、医療や産業等の他分野の方々とも、これまで以上に連携・協働して、地域の特性を生かした「おらがまちづくり」で「輝く福祉」の実現に全力投球したいと思います。

人間の尊厳を守る福祉現場のニーズを強くアピールするとともに、「人間のしあわせ」に携わる福祉の仕事の魅力を積極的に発信し「あんしんして・いきいきと・ちいきで・ふつうに・くらせる・しゃかい（あ・い・ち・ふ・く・し）」の実現に、誇りと自信をもって、前を向いて歩き続けてゆきたいと思えます。年頭にあたり、皆様やご家族の方々にとって幸多い年でありませうよう祈念いたします。

# 社会福祉協議会が取り組む 新たな試み



社会福祉協議会には様々な取り組みが求められています。愛知県社協では、市町村社協職員を委員とする市町村社協地域福祉活動推進部会を設け、新たな取り組みを広げようとしています。

成年後見では、成年後見制度研究委員会委員とも連携し、このたび、行政、社協、専門職らの参加を得て、成年後見セミナーを開催、県下でいかにして成年後見の取り組みを進めるかを検討しました。講義では、あいち権利擁護支援ネットの池田恵利子氏

に取り組む意義等をお話いただき、



## 新たな試み



新城市と新城市社協からは成年後見支援センターの立ち上げについて発表を、グループ討議では、今回、既にセンターを設置している地域と未設置の地域に分かれて討議を行いました。その中でも、未設置の地域でも既に事業実施に向けた動きがあること、弁護士会の協力があることが紹介され、他市町村の方々にも刺激になったことと思います。

生活困窮者支援関係では、初めて家計相談支援事業の研修会を開催し、事業の実施の有無を問わず、行政、社協、NPO等の方々に参加がありました。こちらにも、家計相談支援事業は任意事業であることから、その取り組みを進めるため、高浜市社協の発表や、モデル事業の時から本事業を実施している東近江市社協から講師をお招きし、この事業を行う効果だけでなく困窮者を支援する全体的な視点と取り組みが重要であることをお話いただきました。

地域福祉に関わる制度や施策はこれから大きく動いていきます。愛知県社協としても、市町村社協地域福祉活動推進部会のメンバーや関係団体とともに、地域福祉のあり方を検討していきたいと考えています。





## 民生委員制度創設100周年 記念講演会を開催しました



▲松井猛氏による記念講演

民生委員制度創設100周年記念事業として、11月9日(木)、愛知県芸術劇場大ホールにおいて、愛知県民生委員児童委員連盟との共催により記念講演会を開催しました。

高崎山自然動物園の元ガイドで環境省・環境カウンセラーの松井猛氏を講師にお迎えし、「サル社会から見える人間社会くサルの子育てに学ぶく」をテーマに、子育てやいじめなどの地域

社会の課題に取り組んでいる民生委員・児童委員にとって大きな示唆となる内容でした。

記念講演会のフィナーレでは、東海市民児協と岩倉市民児協の先導により、参加者全員で「民生委員の歌」を斉唱しました。

民生委員制度創設100周年という節目を契機に制度のさらなる普及発展と地域福祉の推進に向け、思いを新たにすることができました。



▲東海市民児協・岩倉市民児協の先導による「民生委員の歌」斉唱

### 会長からのメッセージ

民生委員制度は、大正6年に岡山県で済世(さいせい)顧問制度として創設されてから、本年で100周年という記念すべき年を迎えましたことを、心より祝福いたします。

いつの時代においても、民生委員・児童委員の皆さんは、常に「良き隣人」としてあり続け、地域住民との信頼関係を築きながら、先達が積み重ねられてこられた活動を引き継がれ、ひたすら地域福祉の向上に邁進された民生委員制度の歴史と伝統は誠に輝かしいものがあり、そのご苦労にあらためて深く感謝を申し上げます。

また、わたしたちを取り巻く環境に目を向けますと、経済格差に伴う「新しい貧困問題」、家族や地域社会の絆の崩壊、虐待やDVなどといった複雑・多様化する福祉課題に直面しております。さらに「超少子高齢・人口減少社会」が目前に迫っており、人々のライフステージや地域社会の構造も

大きく変容し、子ども・高齢者・障がい者を含む、誰もが生涯を通して、「いきいきと心豊かな生活」が実感できる「地域の特性を踏まえたまちづくり」が必須の課題になると考えられます。

私も社会福祉協議会は、これまでも常に民生委員・児童委員の皆様と「車の両輪」として力を合わせ、福祉のまちづくりに取り組んでまいりましたが、今後もさらに強く手を携え、不離一体の活動により、誰もが健康や長寿を心から喜べる「普通に暮らせる社会」づくりにつながる「福祉文化」の創造をめざして地域福祉を推進してまいります。引き続きのご支援・ご協力をお願い申し上げます。



▲愛知県社会福祉協議会 大沢会長による挨拶

施設  
紹介

社会福祉法人 白帝福祉会 白帝保育園

園長 岡田 正順

心も体も大きくなって欲しい。  
みんながのびのび過ごせる保育園です。

大きな楠の木（犬山市で2番目に大きい）がある白帝保育園は、昭和25年4月に開園した、犬山市で一番歴史のある保育園です。当時は、「白帝幼児園」という名で始まりましたが、社会福祉法人化したことを機に白帝保育園と改めました。専念寺（浄土宗）の境内地には、楠の木や銀杏の木があり、園からは伊木山と木曾川を一望できる環境に恵まれた、みんなが

家族のようにのびのび過ごせる保育園です。現在の園児は116名。午前7時から午後7時30分（延長保育を含む）まで開園しており、一時保育や休日保育もしております。

## 大切にしたいこと

白帝保育園が目指す子ども像は、「明るく・正しい・なかよくする子、元気で思いやりの心をもった子」です。そんな子に育ってほしいという願いを込めて、子育ての支援をしています。一日の大半を過ごすことになる園で子ども達が、乳幼児期でなければ経験できない楽しい活動（あそび）を通して、自立と主体性を十分に育み、充実した集団的乳幼児期を過ごせるような保育を心がけています。

また、常に子ども達を「真ん中」におき、保護者と保育士、職員が互いに信頼し、協力し合って毎日の保育に励んでいます。

## 保育園の行事

仏教園ということもあり、他の保育園には無い行事を行っています。4月8日には「花まつり（お釈迦様の誕生を祝う）」、12月8日には「成道会（お釈迦様が悟りを開かれた事を祝う）」等を行っております。子ども達はきちんと座ってお数珠をかけ、元気に歌を歌って先生達のパネルシアターや紙芝居を楽しんでいます。また1月には年齢ごとでは無く、成長した2歳児から5歳児までの異年齢縦割りチームを作り、カルタ取りや福笑い、双六などをしてみんなで遊んでいます。

## すべては子ども達の最善のために

この世に生を受けた日から、子ども達は家族のぬくもりに育まれ、すくすくと成長していきます。毎日の保育の中で四季折々の行事や自然を感じながら、子ども達はみんなで喜び合い、成長していく日々です。



人が人として生きる。子ども達がそれぞれに関わりあい、助け合って生きることができるようになってほしい、自然豊かなこの犬山の土地で、嬉しいこと、楽しいことを経験しながら、思いやりのある豊かな心を持った子に育ってほしいと願いながら、「ご家族の方々にとつてもかけがえないこの時期を、一緒に見守っていききたいと職員一同考えています。」



白帝園舎と楠の木



花まつりの様子



# 福祉サービス利用支援センターだより

## 審査会の視点、支援の方法、コミュニケーションの取り方について学ぶ!!

日常生活自立支援事業（以下：本事業）を担当する社会福祉協議会（以下：社協）等の職員（専門員）と生活支援員の研修会を開催しました。

### 日常生活自立支援事業とは

認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等で、自分で判断するのに不安のある方を対象として、地域で安心して自立した生活を送れるよう支援する事業。  
支援内容：福祉サービス利用援助、日常的金銭管理、書類等の預かり

詳しくはこちら

<http://www.aichi-fukushi.or.jp/intoro/fsrscenter/kenri.html>

**専門員とは** 市町村社協等に配置され、原則として高齢者や障害者等への援助経験があつて一定の研修を受けた職員。

**生活支援員とは** 市町村社協等と雇用契約を結び、本事業に協力して活動できる方。

### 担当職員研修会

8月29日開催（参加者数 43名）

午前中は新任担当職員を対象に、本事業の制度説明及び事務の流れ等の説明を行いました。

午後は、全担当職員を対象とし、契約締結審査会委員である日本福祉

大学教育文化事業室室長 神谷真人氏より「審査会委員はココを見ている!!」と題し、日常生活自立支援事業契約締結審査会・審査会委員のことを理解していただくこと、お互いの業務の円滑化や効率化のためにも、日ごろの業務を振り返り交流を図ることをねらいとして、ご講義をいただきました。

また、「日常生活自立支援事業専門員実践力強化研修会Ⅰ」参加報告においては、豊川市社協の地下一孝氏と豊田市社協の佐藤舞香氏に報告をいただき、「専門員一人で抱え込まない。」「支援方法に正解はない。利用者一人一人に合わせること。」「等の強いメッセージも送られました。

グループワークにおいては、1グループ6名の座談会形式で、ペンを持たずメモをとらずテーブルもなく、膝を突き合わせてメンバーの言葉に目と耳をフル活用して活発に意見交換がなされ、意欲的に研修に取り組んでいる姿が見受けられました。

### 参加者の感想

- ・審査委員側の考え、各社協の事情を考えていただいている事が解りました。
  - ・引き込まれる話し方で今後審査会に提出する時に気をつけた方がよいことも確認できました。
  - ・笑顔が大切なことも心にいつともめておきます。
  - ・専門員として利用者の意思を尊重し、関係機関との連携の必要性を改めて感じました。
  - ・一人で抱え込まないというメッセージをいただき再認識いたしました。
- など



神谷氏の講義（「笑顔が大切」の場面）



グループワークの様子 専門員実践力強化研修会Ⅰ 参加報告

### 生活支援員現任者研修会

11月6日開催（参加者数 79名）

全社協発行の「日常生活自立支援事業生活支援員の手引き」の執筆者ルーテル学院大学教授 福島喜代子氏を講師にお招きし、利用者とのコミュニ

ケーションの取り方について理解を深めることと、利用者支援の技法を習得することをねらいとして、ご講義いただきました。

午後は、新城市社協の専門員 夏目淳一氏と生活支援員 鈴木進氏に活動報告をいただき、それを元にグループでの事例検討・全体会を行いました。

### 参加者の感想

- ・具体的な例を挙げて講義してくださり、状況を想像しやすかったので理解が深まりました。
  - ・実際に活用できそうな内容でした。
  - ・具体的な会話の仕方が大変参考になりました。
  - ・先生の話が聞きやすく、言葉遣いも分かりやすくてよかったです。
  - ・関係機関との連携がとれており、参考になりました。
  - ・大変難しい事例だと思いましたが、よい支援をなさっていると思いました。
- など



福島氏の講義



活動報告

生活支援員に興味を持たれた方は  
お住まいの市町村社協へ





## 福祉人材センターだより

平成29年度福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程を  
実施しました！

今年度で4年目となる福祉職員  
キャリアパス対応生涯研修課程が8月  
「管理職員」課程からスタートしま  
した。9月には「チームリーダー」、  
10月には「中堅職員」、11月には「初任  
者」課程と階層別に開催し、今年度は  
566人が研修を修了されました。

本研修プログラムは、事前学習と  
してテキストを読み込みした上で、  
事前課題に取り組み、2日間の面接  
授業に参加します。面接授業では、  
講義と演習を通じてテキストの内容を  
確認するとともに、受講者自ら歩ん  
できた道を振り返ります。分野が異なる  
グループメンバーと、「学びが、気づく、  
描く、変わる」のプロセスを基本として  
研修は進んでいきます。研修の最後  
には一人ひとりがキャリアビジョンを  
描き、研修は終了します。終了後も  
受講生自身が描いたキャリアデザイン  
は上司や職場のメンバーと共有しなが  
ら、実現に向かって、アクションプラン

を実践していきます。

受講生からは、「研修で自分の目標  
を持つことができたのが一番大きかつ  
たです。充実した研修でした。」「少数  
意見の中に大切な視点があることに  
気づきました。」「時間を考えながら  
ワークをすることは大変だったが、  
業務にも活かしていききたいです。」「  
今の役割に自信が持てなかったが、  
研修を受講して自信が

持て、どうすべきなのか  
具体的なビジョンが見え  
てよかったです。」「等の  
感想が寄せられ、今後の  
キャリア形成に繋がる  
研修となりました。

これから愛知の福  
祉・介護の業界で働く方  
の力をより高める道し  
るべとなる研修を事務  
局一丸となって実施して  
まいります。



初任者第3セッション



チームリーダー集合写真 (B会場)



管理職員第5セッション



中堅職員第3セッション

### 介護保険制度の要を目指して！

#### 【介護支援専門員実務研修受講試験】愛知県は1,530人が合格！

第20回介護支援専門員実務研修受講試験が10月8日(日)に全国一斉に実施され、愛知県では5,850人の方が愛知学院大学、名古屋大学、名古屋市立大学、日本福祉大学の4会場で受験しました。

11月28日(火)に合格発表され、愛知県の合格者は1,530人、合格率は26.2%でした。

合格者が介護支援専門員になるには、3月から9月に行われる16日間(87時間)の「介護支援専門員実務研修」を修了し、県に登録することが必要です。

研修の詳細は、愛知県福祉人材センターのホームページに掲載中です。

[URL]<http://www.aichi-fukushi.or.jp/intoro/jinzai/index.html>

また、来年度からは経過措置の終了により、受験資格が限定されます。詳細は下記のアドレスにてご確認ください。

[URL][http://www.aichi-fukushi.or.jp/intoro/jinzai/pdf/20\\_ex\\_qua.pdf](http://www.aichi-fukushi.or.jp/intoro/jinzai/pdf/20_ex_qua.pdf)



# 福祉生きがいセンターだより

## 平成30年度あいちシルバーカレッジ募集開始

あいちシルバーカレッジは、愛知県内にお住まいの60歳以上の方を対象に生きがいと健康づくりを図るとともに、「地域における社会活動の中核となる人材を養成すること」を目的として行っています。

主な内容は、講義を中心に、修学旅行、社会見学など、年間30日間のカリキュラムを実施しています。あいちシルバーカレッジを卒業した後も、同窓会やサークル等を立ち上げ、在学中に構築したつながりや講義で得た知識を生かした活動を継続しています。

あいちシルバーカレッジは、現在27年目を迎え、昨年度には卒業生が1万人を超えました。卒業生からは、「新しい友達ができて日々が充実した。」「久しぶりに学生気分を味わえて若返った。」などの声が聞かれます。

あいちシルバーカレッジは、来年度28年目を迎えるにあたり、全体の募集定員を630名に増員することにも、

東海会場の開催場所の変更を行い、一人でも多くの方々の生きがいや健康づくりを応援していきます。

**定員数変更**

岡崎文化教養学科 50名 ↓ 90名

豊橋文化教養学科 90名 ↓ 80名

**開催場所変更**

東海生きがい健康学科  
東海保健福祉センター(しあわせ村)  
東海市荒尾町西廻間2-1

←

東海市立市民活動センター(ソラト)  
東海市大田町後田20-1

※名鉄「太田川」駅下車徒歩1分

### 対象

愛知県内にお住まいの満60歳以上(昭和33年4月1日以前生まれ)の方で、通学及び各種講義に出席できる健康な方。(ただし、過去にあいちシルバーカレッジに在籍された方は除きます。)

### 費用(予定)

入学金1万円、授業料1万3千円(年額)

### 募集定員

計630名

### 募集期間

1月4日(木)から2月5日(月)まで(当日消印有効)

### 申込方法

各県民相談・情報センター、各市区町村役場、社会福祉協議会等に配布する「募集案内」に添付の申込書で郵送にてお申し込みください。

### 申込・問合せ

愛知県社会福祉協議会  
福祉生きがいセンター

### 住所・電話番号

〒461-1001  
名古屋市中区白壁一丁目50番地  
電話(052)212-1552



■講義風景

学科	定員	講義日 半数程度	会場	平成29年度 倍率
名古屋A文化教養学科	100名	火曜日	愛知県社会福祉会館(愛知県白壁庁舎) 名古屋市中区白壁1丁目50番地	3.4
名古屋A生きがい健康学科	50名			2.4
名古屋B文化教養学科	100名	木曜日		2.6
名古屋B生きがい健康学科	50名			2.0
豊橋文化教養学科	80名	水曜日	豊橋市民センター(カリヨンビル) 豊橋市松葉町2丁目63番地	1.3
岡崎文化教養学科	90名	金曜日	岡崎市図書館交流プラザ(りぶら) 岡崎市康生通西4丁目71番地	2.6
一宮文化教養学科	90名	月曜日	一宮地場産業ファッションデザインセンター 一宮市大和町馬引字南正亀4番地の1	2.4
東海生きがい健康学科	70名	月曜日	東海市立市民活動センター(ソラト太田川3階) 東海市大田町後田20番地の1	1.1
合計	630名	-	-	2.3

各カレッジ会場・昨年度倍率

# 雨にも負けず、愛顔あふれる全力プレー!! 第17回全国障害者スポーツ大会「2017愛顔つなぐえひめ大会」

平成29年10月28日(土)～10月30日(月)の3日間にわたり、第17回全国障害者スポーツ大会(2017愛顔つなぐえひめ大会)が愛媛県において開催され、愛知県からは、個人・団体競技あわせて173名の選手、役員が参加しました。

大会に向けて練習を重ね、気合い充分の選手・役員が、26日、愛知県選手団の青と白のユニフォームを身にまとい名古屋駅に集合し出発式を行いました。



■雨のなかの開会式



■台風避難中の特設手話教室



■次は優勝を目指す!!



■聴覚男子バレーボール優勝!!



■大会ボランティアと一緒に

家族や知人に見送られ、これからの期待と不安が入り混じりながらも、ひきしまった表情で、愛媛県に出発しました。

選手たちは、大会前日27日の公式練習で、現地練習を行い競技に備えました。競技1日目は、愛媛県総合運動公園陸上競技場で行われた開会式で、雨が降る中でも、元気いっぱい姿で全進行進をした選手たちは、大きな声援に緊張しつつも、監督やコーチのサポートを受け、全力で競技に参加しました。

また、競技の日程の間をつかって、道後温泉を散策したり、ふれあい広場で、お土産を見たりと、競技以外の時間についても、選手にとって充実した時間となりました。

競技2日目は、台風にみまわれ、一部の競技が中止となりましたが、陸上、水泳、卓球、フライングディスク、ボウリングの各個人競技では合計47個のメダル(金メダル15個、銀メダル15個、銅メダル17個)を獲得しました。

また団体競技では、車いすバスケットボール、聴覚男子バレーボールが優勝、知的男子バスケットボールが準優勝し、熱い声援に応え、精一杯競技しました。

成績はもちろんです、大会期間中、共に過ごした仲間達や、現地スタッフとの楽しい交流が選手達にとって、刺激となり、次なる目標を見つけていきました。

来年は、平成30年10月13日(土)～15日(月)に、福井県において「福井しあわせ元気大会2018」が開催されます。皆さんの応援をよろしくお願いします。

## 第31回ふれあいフォトコンクール入賞者決定



2L部門金賞 「ふれあい」中村昭夫さん



愛知県社会福祉協議会会長賞 「夏色の日」大門陽子さん

今年で第31回目となるふれあいフォトコンクールでは、より写真に親しんでいただくために、今回より2Lサイズ部門を新設いたしました。地域でのふれあいの一面や、福祉に関する写真を県内外より多数応募いただき、44名の入賞者が決まりました。

なお、入賞作品は、11月29日～12月4日の期間、NHK名古屋放送センタービル（プラザウエーブ21）にて展示させていただきます。今回も多くの応募をいただきまして、誠にありがとうございました。

### 《主な入賞者》

#### ▼四つ切サイズ部門

#### ■愛知県知事賞

岡崎市 青木 正雄さん

#### ■愛知県社会福祉協議会会長賞

名古屋市 大門 陽子さん

#### ■NHK厚生文化事業団理事長賞

春日井市 片田 綾子さん

#### ■セーフティマイタウン賞

名古屋市 富田 邦雄さん

#### ■中日新聞社会事業団理事長賞

三重県 伊藤 孝司さん

#### ■審査員特別賞(青山昌弘賞)

三重県 草川 徹さん

#### ■審査員特別賞(齋場ひさし賞)

名古屋市 水野 義己さん

豊田市 井本 岩男さん

#### ■カメラのアマノ賞

名古屋市 山田 修さん

#### ■ニコン賞

名古屋市 鈴木 節子さん

#### ■富士フイルム

イメージングシステムズ賞

小牧市 玉置 良宗さん

#### ▼2Lサイズ部門

#### ■金賞

三重県 中村 昭夫さん

## 民生委員制度創設100周年記念・第65回愛知県社会福祉大会

10月19日(木)に愛知県体育館において、県内の社会福祉の第一線で活躍されている関係者10,000名余の方々に参加いただき、民生委員制度創設100周年記念・第65回愛知県社会福祉大会を開催しました。

第1部の式典では、愛知県警察音楽隊によるオープニングアトラクションで始まり、続いて、多年に亘り社会福祉の推進に功績のあった方や団体に、県知事・県社協会長・県共募会長から、表彰状や感謝状が贈呈されました。また、第2部の協議において、「大会宣言・決議」、「民生委員制度創設100周年における宣言」を参加者の総意をもって採択し、盛会の内に終了しました。

なお、「大会決議」につきましては、11月に、関係機関に陳情を行いました。

### 陳情書提出先

県、県議会、名古屋市、名古屋市中核市（豊橋市・岡崎市・豊田市）、県市長会、県市議会議長会、県町村会、県町村議会議長会

## 大会決議

今日、誰もが住み慣れた地域において、安心して暮らすことができ、人間の尊厳が守られる社会を築いていくために、利用者本位の福祉サービス提供体制の充実と地域福祉の基盤強化が強く求められています。

このときにあたり、わたくしたち社会福祉関係者は、福祉力・地域力の向上を図るために、次の事項を決議します。

- 1 地域福祉の中心的担い手である県・市区町村社会福祉協議会の基盤整備を一層強化されたい。
- 2 ボランティア・NPO等の活動に対する支援を充実強化されたい。
- 3 民生委員・児童委員活動に対する支援を一層強化されたい。
- 4 地域における生活困窮者への支援や生活福祉資金貸付事業等のセーフティネット対策を拡充されたい。
- 5 社会福祉法人の非営利性と公益性を踏まえ、現行税制を堅持されたい。
- 6 大規模災害に備えた災害福祉広域支援体制の整備を図るとともに、防災・減災対策を充実強化されたい。
- 7 介護保険サービスの質の向上と安定的な運営及び介護予防と高齢者の生きがい対策を充実強化されたい。
- 8 共生社会の実現のため、改正障害者総合支援法による施策を充実強化されたい。
- 9 子ども・子育て支援新制度による保育等施設の量的・質的な拡充や児童虐待予防の取り組みを始めとする社会的養護施策を総合的に推進されたい。
- 10 母子・父子・寡婦等に対する福祉サービスと就業支援等の自立支援策を充実強化されたい。
- 11 社会福祉施設の整備と運営体制の支援を強化されたい。
- 12 福祉・介護・保育を担う人材の確保と育成のための総合的・恒久的な対策を充実強化されたい。

平成29年10月19日

民生委員制度創設100周年記念・第65回愛知県社会福祉大会

みんなで挑戦!!

福祉検定

1 37頭 2 57頭 3 77頭

こたえは…巻末をご覧ください。

Q

身体障害者補助犬法において、補助犬は盲導犬、介助犬、聴導犬の3種類に分けられています。このうち、盲導犬は目の見えない人、見えにくい人が街なかを安全に歩けるようにサポートする役割を担っています。

平成29年11月1日現在、全国で950頭の盲導犬が活動していますが、愛知県においては何頭でしょう。

## 愛知県共同募金会だより

# 歳末たすけあい運動にご協力ありがとうございました



■NHK名古屋放送局での寄付金受領風景

共同募金会では、共同募金運動の一環として、毎年12月1日から12月31日まで「歳末たすけあい運動」を展開しております。平成29年度も各市区町村では、「つながり ささえあう みんなの地域づくり」をスローガンに「地域歳末たすけあい」を、愛知県共同募金会では、報道関係機関（NHK、中部日本放送、東海テレビ福祉文化事業団、名古屋テレビ放送、中京テレビ放送、テレビ愛知、中日新聞社会事業団）のご協力の下、「報道関係歳末たすけあい」を実施しました。

ここで、「報道関係歳末たすけあい」の取り組みの一部をご紹介します。

また、中部日本放送（CBC）では、児童福祉施設への支援を目的として、放送と連動した募金活動を展開されました。この寄付金は、愛知県を通じて愛知県共同募金会に寄せられ、施設の子どもたちが使用する運動用品等に配分されています。CBCでは、昭和32年からこうした募金活動に取り組まれています。



■CBCチャリティ募金寄託贈呈式(12/18開催) CBC社長(右)から施設の代表者へ目録贈呈

報道関係機関各社から寄せられた寄付金は、「報道関係歳末たすけあい打合せ会」において配分先等を協議しており、このような取り組みは、全国的にも珍しく愛知県の特徴的な活動です。

平成29年度の共同募金運動にご協力いただいた皆さまに厚くお礼申し上げます。誠にありがとうございました。



■左から愛知県共同募金会 溝口常務理事、名糖産業株式会社 森課長

名糖産業株式会社では、チョコレットを通じて、子どもたちにクリスマスを楽しんでもらいたいと願い、昭和62年から毎年、クリスマスチョコレットを県共同募金会にご寄託いただいております。



「ありがとうございます」メッセージ  
社会福祉法人 福寿会  
ひかりこどもえん(あま市)  
配分事業・総合遊具の設置  
共同募金の配分金で、園庭のスロープの中腹に総合遊具を設置しました。

子供たちは目を輝かせて喜び、遊具に「たからじま」と名前をつけました。おかげさまで、外遊びの機会が増え、走ったり、跳んだり運動量がとても多くなりました。これからも「たからじま」で元氣いっぱい遊びます。

募金にご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。



## ご寄付に感謝

本会が設置している福祉基金にたくさんのご寄付をいただき、ありがとうございます。みなさまからの善意を「あたたかい福祉社会」づくりに活かしていけるよう事業に取り組んで参ります。今後ともご理解とご協力をよろしくお願い致します。

ご寄付いただいた方々  
(平成29年8月~11月)  
(2件 ご寄附順)

加藤 鈺三 様 ..... (尾張旭市)  
コール・サマー 様 ..... (名古屋市)

## 福祉の保険 ご案内

### ボランティア活動保険

ボランティア活動中のケガを補償(傷害事故)  
活動中に人にケガをさせてしまった時や人の物を壊してしまった事故を補償(賠償事故)

### ボランティア行事用保険

社協やボランティア活動を推進している民間団体が主催の行事中のケガや賠償事故を補償  
保険の内容については、本会ホームページ-福祉の保険-をご覧ください

加入手続き・お問い合わせは、お住まい又は活動場所の市区町村社会福祉協議会へ

取扱代理店 (株)みらいの保険 TEL.052-221-0294  
(旧 愛知福祉朝日保険サービス)  
引受保険会社 三井住友海上火災保険(株) TEL.052-307-0653

## 福祉検定 解答

A 1 37頭

補助犬の種類と実働頭数(全国・愛知県)は下表のとおりです。

H29.11.1現在

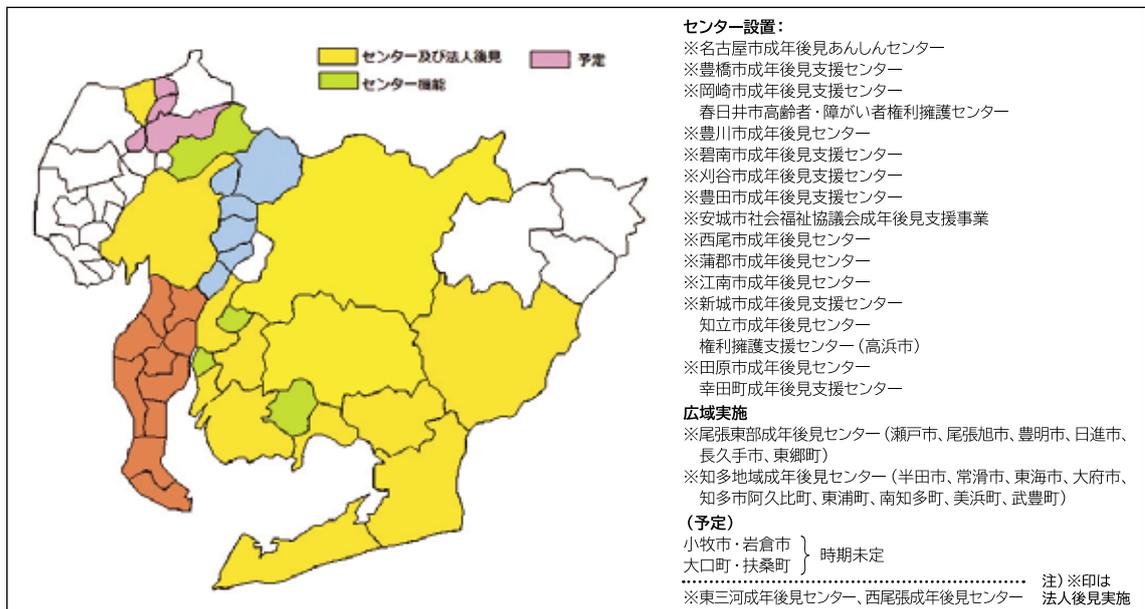
	盲導犬	介助犬	聴導犬
種類	目の見えない人、見えにくい人が街なかを安全に歩けるようにサポートします。障害物を避けたり、立ち止まって曲がり角を教えたりします。ハーネス(胴輪)をつけています。	手や足に障害のある人の日常生活動作をサポートします。モノを拾って渡したり、指示したものを持ってきたり、着脱衣の介助などを行います。介助犬と書かれた表示をつけています。	音が聞こえない、聞こえにくい人に、生活の中の必要な音を知らせます。玄関のチャイム音・FAX着信音・赤ちゃんの泣き声などを聞き分けて教えます。聴導犬と書かれた表示をつけています。
全国	950	68	72
愛知県	37	4	0

出典:厚生労働省のページ 身体障害者補助犬  
([http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi\\_kaigo/shougaisahukushi/hojoken/index.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/shougaisahukushi/hojoken/index.html))

問題は...10ページにあります。

## お詫びして、訂正いたします

2017年11月号(no.489) 特集「その人らしい生活を守る」の記事の、「愛知県内市町村の成年後見センター等の取り組み状況(2017.9.1現在)」の図表の中で、岡崎市成年後見支援センターに、※印(法人後見実施)の記載が抜け、図中の岡崎市の色分けの表示が誤っておりました。正しい内容の図表は下記のとおりです。岡崎市成年後見支援センターにおいては、2017年7月より法人後見を実施しておりますので、お詫びして訂正させていただきます。



■愛知県内市町村の成年後見センター等の取り組み状況(2017.9.1現在)